

マリン・ プロフェッショナル

Japan Marine Construction
Engineering Association



CONTENTS

VOL. 92

海技協会報

ページ

01 巻頭言

「自分を育てるのは自分」

(社)日本海上起重技術協会理事／九州支部長
近藤海事(株) 代表取締役社長

近藤 観司

03 活動ジャーナル

第67回理事会及び第23回通常総会報告

18 特集……東京国際空港D滑走路建設シリーズ

東京国際空港D滑走路建設の現況報告
—第6回 プレキャスト床版の製作と設置編—
国土交通省 関東地方整備局
東京空港整備事務所

吉田 行秀

23 会員寄稿「会員の広場」北陸支部

北陸新幹線は地域の希望の星！それとも…？

加賀建設株式会社 代表取締役社長

鶴山 庄市

25 会員作業船紹介²⁸ 近畿支部

2,400t吊 非自航低頭式ジブ俯仰型起重機船 第28吉田号
株式会社 吉田組

28 海の匠「海上起重作業管理技士の紹介」シリーズ³⁹中部支部

株式会社 小島組 安田 宏昭

29 マリーンニュース「事務局だより」

32 インフォメーション「販売図書案内・お知らせコーナー」

『自分を育てるのは自分』

(社)日本海上起重技術協会理事／九州支部長
近藤海事(株) 代表取締役社長

近 藤 観 司



今何時ですか？

もう、一世紀近く以前のことです。インドの山奥で狼の棲んでいる洞穴から、二人の女の子が発見されました。二人は小さな赤ん坊の時から随分長い間狼に育てられたのでしょう。推定八つばかりになっていた二人は、暗闇の中でも目がらんらんと光って何でも見える。何十メートルも先にある餌が鼻でわかる。餌があるということがわかりますと、四つ足でものすごい勢いで飛んでいって生肉を貪り食う。夜中の一定の時刻になると遠吠えをやる…。

猫は生まれてすぐ人が育てても猫に育ちます。犬は生まれてすぐ人が育てても、最悪嫉の悪い犬には育ちます。ところが人間は人間に生まれたからといって、人間に育つとは決まっていないのです。狼になることは特異なケースとしても、一生こつこつと地道に研究を重ねノーベル賞を受ける人もおれば、中には親を殺す人、子を殺す人までがおります。こんな狼どころか獣以下の人間のことを、人でなしというのでしょうか。

左足に 米とぎかしぎ 墨をすり 絵をかきて生く ひとすじの道

木村ひろ子さんは、生まれて間もなく脳性麻痺になり両手両足と話すことが駄目になりました。

学校に行けなかったひろ子さんは、わずかに動く左足に鉛筆をはさんでお母さんから字を習いました。このお母さんは十三歳の時に、お父さんは三歳の時に亡くなってしまいます。

成長したひろ子さんは、左足でお米を洗って、左足でご飯を炊いて、左足に墨をはさんで墨をすり、左足に筆をはさんで絵を描いて、その絵を売って生計を立てました。ひろ子さんの凄いところは、この左足で描いた絵の収入を毎月体の不自由な皆さんのために割いていることです。

そして、「わたしのような女は、脳性麻痺にかからなかったら生きることのただごとでない尊さを知らずにすごしたであろうに、脳性麻痺にかかったおかげさまで、生きることがどんなに素晴らしいことかを知らしていただきました」

ひろ子さんにとっては、脳性麻痺にかかったことさえも「おかげさまで」なのです。

巻頭言

おかげさまでの道も、人でなしの道も、ただごとでない人の道。

私も少しは増しな人間にと、残された人生の時間割を考えました。仕事ができる、旅行にも行ける、人によってはゴルフも楽しめる・自分の意思で自分の人生を創れる平均寿命を七十二歳とします。そしてこの七十二歳、七十二年を、三で割って一日二十四時間の人生時計に置き換えます。

十八歳は朝の六時、三十六歳はお昼、六十歳は夜の八時、私などはもう九時を回っております。残された時間の少なさに慄然とさせられます。とてもボヤボヤなどしておれません。

自分は 自分の主人公 世界でただひとりの 自分を創っていく責任者

白状します。以上お書きしたものは、小学生中学生の教育に一生を捧げた東井義雄さんを紹介する致知出版社の「10代の君たちへ 自分を育てるのは自分」の全くの受け売りでございます。

心洗われる、そして、人間の素晴らしい熱き心に出会える小さな大きな一冊でございます。

千二百円の大変コスト・パフォーマンスの宜しい自分への投資でございます。

謹んでご紹介させていただきます。



第23回通常総会

第23回通常総会が、会員各位のご協力により平成21年5月15日(金)無事終了いたしました。総会終了後、功労者表彰式、林田博国土交通省大臣官房技術参事官並びに国土交通省港湾局技術企画課松原裕建設企画室長による特別講演を頂き、夕刻から開催しました懇親会において、国土交通省須野原豊港湾局長、参議院議員泉信也先生、衆議院議員渡辺具能先生の秘書宮内秘書方からご祝辞を賜り、関係団体はじめ多くのご来賓のご出席を頂き、賑やかな一時を過ごす事が出来ました。

第67回理事会及び第23回通常総会の詳細は本文5頁からご覧いただけます。



総会で挨拶する寄神会長



開催状況



総会后、講演を頂いた
林田博国土交通省大臣官房技術参事官



総会后、講演を頂いた松原裕国土交通省
港湾局技術企画課建設企画室長



総会懇親会会場で来賓者を迎える会長、副会長



懇親会で主催者挨拶する寄神会長



来賓祝辞を頂く、須野原港湾局長



来賓祝辞を頂く、泉参議院議員



来賓祝辞を頂く、
宮内秘書(渡辺衆議院議員秘書)



乾杯の発声を頂く、大島全日本漁港
建設協会会長



中締めをする清原副会長

第67回理事会 及び第23回通常総会報告

社団法人日本海上起重技術協会は、去る5月15日(金)第23回通常総会を東京・虎ノ門パストラルにおいて開催した。寄神会長から平成20年度会務報告をかねた挨拶があり、平成20年度事業報告、収支決算、平成21年度事業計画、収支予算が審議され、原案どおり承認された。

また、役員任期満了に伴う改選があり、新役員2名を含む全役員が選任された。

◆第23回通常総会

- | | |
|---------|---|
| 1. 開催日時 | 平成21年5月15日(金) 15:00～ |
| 2. 開催場所 | 虎ノ門パストラル新館1階(鳳凰西の間) |
| 3. 総会議案 | 第1号議案 平成20年度事業報告の件
第2号議案 平成20年度収支決算承認の件
第3号議案 平成21年度事業計画承認の件
第4号議案 平成21年度収支予算承認の件
第5号議案 役員任期満了に伴う改選の件 |

●第1号議案 平成20年度事業報告の件

平成20年度の事業報告及び会務報告をし、原案どおり承認された。

事業報告

1. 海上起重事業の近代化

- (1)建設産業の健全化に向けた国等による入札・契約に関する施策の動向
- (2)関係官公庁に対する要望
- (3)情報関係への取り組み

2. 調査研究等

- (1)自主事業
 - 1)安全対策の推進
- (2)受託事業による調査研究

3. 資格認定事業の実施

- (1)「海上起重作業管理技士」資格認定試験
- (2)資格者証更新講習会
- (3)「登録海上起重基幹技能者」講習の実施と基幹技能者制度推進協議会への参画

4. 広報活動

- (1)正会員、賛助会員の動向

- (2)会報等の発行及び事業関係資料の配付
- (3)会員関係者の表彰について

5. 支部活動

- (1)支部総会
- (2)支部要望活動(意見交換会)
- (3)その他の支部活動状況

●会務運営

1. 第22回通常総会

平成20年5月21日、東京都港区虎ノ門4-1-1「虎ノ門パストラル」において開催され、平成19年度事業報告、決算報告、平成20年度事業計画、予算案、補欠役員改選について理事会提案どおり承認可決された。

2. 理事会

第65回理事会

平成20年5月21日、東京都港区虎ノ門4-1-1「虎ノ門パストラル」において開催され、第22回総会提案事項について事務局提案どおり承認された。

第66回理事会

平成21年2月18日、東京都港区虎ノ門4-1-1「虎ノ門パストラル」において開催され、平成20年度活動報告、平成21年度暫定予算等について事務局提案どおり承認された。

会議終了後「海上起重事業の近代化方策ならびに会員の経営改善方策」に対する取り組みについて、意見交換会を実施した。

3. 平成20年度支部長会議

平成20年11月14日、東京都港区虎ノ門4-1-1「虎ノ門パストラル」において開催され、平成20年度港湾局長要望、平成20年度協会活動状況等について事務局提案どおり承認された。

ただし、協会要望活動の進め方については、事前に会員の意見をよく反映するよう「作成スケジュール」を示すなど、今後の検討課題とされた。

4. 常任委員会

常任委員会は、各専門委員会の中において、理事会に次ぐ役割を有し、協会運営全般について検討している。平成20年度は、4回の委員会を開催した。

5. 常任委員会幹事会

常任委員会の事前審査機関として平成15年度から発足した本幹事会は、平成20年5月13日から平成21年2月20日までの間、10回の幹事会を開催し、主として会員の抱える諸問題について、その改善方策を検討し平成20年度要望書に取りまとめた。

また、港湾局長要望後、個別具体の要望内容について、港湾局担当者と意見交換を重ねるなど、要望事項の実現のための活動を行った。

6. 広報委員会

広報委員会は、平成20年8月6日から平成21年2月13日までの間、3回の委員会を開催し、年間の広報活動及び協会報等を編集発行し、また、支部活動などについても企画実行の検討を行った。

7. 事業委員会

事業委員会は、平成20年度は会員要望アンケートを行わなかったこともあり開催しませんでした。平成21年度の対応方針については別途検討を行った。

8. 技術委員会

技術委員会は、平成20年7月22日第1回委員会を開催し、「災害・事故発生時における作業船の活用について」等を検討審議し、これを取りまとめた。

9. 技術認定委員会

(1) 認定試験等委員会との合同活動

技術認定委員会は、「海上起重作業管理技士」資格認定事業及び本年度より新たに開始した「登録海上起重基幹技能者」資格認定事業を推進するため、認定試験の審査機関である「海上起重作業管理技士認定試験委員会」及び「海上起重基幹技能者講習試験委員会」と合同で、平成20年4月17日から平成20年11月21日まで6回の委員会を開催し、認定試験・講習試験及び技術講習会、資格者証更新講習会の実施に係わる事項について検討を行い実施した。

(2) 技術認定委員会単独活動

技術認定委員会は、平成20年4月17日と平成21年1月16日の2回の委員会を開催し、現行の「海上起重作業管理技士」資格認定制度と区別しつつ、新たに取り組むこととなった「登録海上起重基幹技能者」資格認定制度に関する検討作業を行った。こけを受けて、平成20年9月19日付けで国土交通大臣より「登録基幹技能者講習実施機関」の許可を得た。

10. 安全対策委員会

安全対策委員会は、平成20年6月4日から平成21年1月20日まで3回の委員会を開催し、安全パトロールや作業船の安全運航に関する啓蒙活動を行った。

また、一昨年より、「作業船団安全運航指針」の見直しを行い平成20年4月に改訂版を発行した。

11. 支部事務担当者会議

支部事務局長会議は、平成20年4月10日から平成21年2月13日まで4回開催し、平成20年度支部活動方針等を検討し実施した。

●第2号議案 平成20年度収支決算承認の件

平成20年度の収支決算を収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等で説明し、原案どおり承認された。

◇収支計算書

自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 会費収入	52,266,000	49,327,450	2,938,550
1) 通常会費	52,166,000	49,327,450	2,838,550
① 正会員	26,136,000	24,463,800	1,672,200
② 賛助会員(1種)	6,750,000	5,940,000	810,000
③ 賛助会員(2種)	675,000	675,000	0
④ 正会員賦課金	18,605,000	18,248,650	356,350
2) 入会金	100,000	0	100,000
① 入会金	100,000	0	100,000
(2) 事業収入	116,720,000	75,042,400	41,677,600
1) 受託収入	70,000,000	47,754,000	22,246,000
2) 認定試験及び講習会収入	13,100,000	14,568,000	△1,468,000
① 認定試験収入	2,750,000	3,463,000	△713,000
② 試験講習会収入	4,950,000	6,095,000	△1,145,000
③ 資格者証更新講習会収入	5,400,000	5,010,000	390,000
3) 登録基幹技能者講習収入	30,000,000	11,396,000	18,604,000
① 試験講習収入	30,000,000	11,396,000	18,604,000
② 修了証更新講習収入	0	0	0
4) 技術図書販売収入	3,620,000	1,324,400	2,295,600
(3) 雑収入	140,000	157,115	△17,115
1) 預金利息	100,000	129,115	△29,115
2) 雑収入	40,000	28,000	12,000
当期収入合計(A)	169,126,000	124,526,965	44,599,035
前期繰越収支差額	49,943,747	49,943,747	
収入合計(B)	219,069,747	174,470,712	44,599,035

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異
2. 事業活動支出			
(1) 事業支出			
1) 海上起重事業の近代化	2,000,000	2,512,943	△512,943
2) 調査研究等	59,136,000	25,417,163	33,718,837
① 自主事業	3,400,000	1,118,670	2,281,330
② 受託事業	55,736,000	24,298,493	31,437,507
3) 認定試験及び講習会	10,300,000	10,026,065	273,935
① 認定試験事業	8,000,000	7,828,324	171,676
② 資格者証更新事業	2,300,000	2,197,741	102,259

科 目	予算額	決算額	差 異
4) 登録基幹技能者講習	15,050,000	9,687,061	5,362,939
①講習事業	15,050,000	9,687,061	5,362,939
②修了証更新事業	0	0	0
5) 広報活動	6,500,000	6,328,408	171,592
6) 支部事業活動費	7,270,000	7,170,000	100,000
事業支出計	100,256,000	61,141,640	39,114,360
(2) 管理費支出			
1) 人件費	38,700,000	37,653,681	1,046,319
①給料手当	33,200,000	32,027,517	1,172,483
②福利厚生費	5,500,000	5,626,164	△126,164
2) 物件費	21,170,000	20,207,227	962,773
①会議費	3,000,000	2,999,457	543
②旅費交通費	1,900,000	1,518,010	381,990
③通信運搬費	600,000	559,948	40,052
④消耗品費	80,000	385,118	△305,118
⑤修繕費	50,000	0	50,000
⑥印刷製本費	470,000	462,360	7,640
⑦図書費	80,000	84,383	△4,383
⑧光熱水料費	390,000	436,679	△46,679
⑨賃貸料	7,300,000	7,483,539	△183,539
⑩諸謝金	300,000	300,000	0
⑪租税公課	2,600,000	1,929,170	670,830
⑫負担金支出	1,500,000	1,183,845	316,155
⑬雑費	2,900,000	2,864,718	35,282
管理費支出計	59,870,000	57,860,908	2,009,092
事業活動支出計	160,126,000	119,002,548	41,123,452
事業活動収支差額	9,000,000	5,524,417	3,475,583
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
(1) 退職給付積立預金取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
(1) 退職給付積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
(2) 25周年事業積立預金支出	2,000,000	0	2,000,000
(3) 認定講習運営積立預金支出	10,000,000	3,000,000	7,000,000
(4) 固定資産購入支出	0	1,050,000	△1,050,000
投資活動支出計	13,000,000	5,050,000	7,950,000
投資活動収支差額	△13,000,000	△5,050,000	△7,950,000
III 予備費	1,000,000	0	1,000,000
当期支出合計 (C)	174,126,000	124,052,548	50,073,452
当期収支差額 (A)-(C)	△5,000,000	474,417	△5,474,417
次期繰越差額 (B)-(C)	44,943,747	50,418,164	△5,474,417

- ◇正味財産増減計算書
- ◇貸借対照表
- ◇財産目録

●第3号議案 平成21年度事業計画承認の件

平成21年度の事業計画を説明し、承認された。

事業計画

1. 海上起重事業の近代化

(1)協会自主活動

会員が抱える問題を解決し、会員の経営基盤の強化を図るための施策の検討を行う。

- ①アンケート調査を取りまとめ、自主活動及び要望活動に反映させる。
- ②「三者連絡会等推進委員会」の活動を通じて海上起重事業の近代化に努める。
- ③「作業船施工実績情報システム」に関して総合評価等への活用などを港湾局と調整しつつ検討する。

(2)本省等への要望活動

- ①本省要望書の作成にあたっては、アンケート調査に基づいて提案し実行する。
- ②海上保安庁等に対する要望については、アンケート調査結果を基に専門委員会において検討し、港湾局等関係機関との調整を行いながら要望する。

(3)港湾管理者への要望活動

- ①協会が行っている事業に関して理解を得るよう活動を行う。
- ②港湾管理者に対する要望については、アンケート調査結果を基に専門委員会及び支部において検討し、支部が中心となって要望活動を行う。

(4)講演会等の開催

各支部総会の機会等を活用して、技術講習会や安全講習会等を実施し、海上起重事業の近代化に努める。

(5)技術情報の提供

会報等を通じて技術開発情報や海上工事施工技術情報の提供を推進する。

(6)会員専用ページの提供

ホームページ等の活用により、行政報告、技術情報、協会活動等を会員へ迅速に情報提供する。

2. 調査研究等

(1)自主事業

- 1)安全対策の推進
- 2)環境保全対策の推進

(2)受託事業等による調査研究

- 1)受託調査
- 2)自主調査

3. 資格認定事業の実施

(1)「海上起重作業管理技士」資格認定試験

- 1)「海上起重作業管理技士」資格認定制度のあり方検討
 - ①「海上起重作業管理技士」資格認定制度のあり方について
 - ②「資格区分の改正」の検討
- 2)新規試験講習会

- 3) 資格者証更新講習会
- (2) 「登録海上起重基幹技能者」資格認定講習
 - 1) 新規認定講習

4. 広報活動

- (1) 正会員、賛助会員の勧誘促進
- (2) 協会報の発行、協会広報資料の作成配布
- (3) 講演会、講習会等の開催
- (4) インターネットの活用による広報活動の推進

5. 支部活動

- (1) 支部総会等開催による会員相互の連携強化
- (2) 支部管内における地方整備局や港湾管理者等への要望活動及び意見交換会の開催
- (3) 三者連絡会等推進委員会を支える各支部の「行動隊」による「プロジェクトX」への会員支援活動
- (4) 他団体等との協調・連携による研修、講習会の実施
- (5) 各種表彰者の推薦

6. 公益法人制度改革への対応

平成20年12月1日より施行となりましたが、当協会としては昨年5月の理事会・総会で決定いただいたとおり、他の関係団体の動向を見極めつつご当局とも連携をとりながら、当協会の専門委員会等で検討を行って、検討結果がまとまり次第通常総会に提案して議決を得ることとする。

なお、法律適用申請期間は、施行日から5年以内の平成25年11月30日までとされている。

公益(社団)法人となることの本来的要件は、

- ① 定款の内容が法人法・認定法に適合していること。
- ② 公益目的事業費率が、(費用で計って) 50 / 100以上であること。
- ③ 法人関係者に特別の利益を与えないものであること。
- ④ 他の同一の団体の理事が、理事の総数の1 / 3を越えないものであること。
- ⑤ ほぼ現行法上の法人税課税が予定されており、収益事業に対してのみ課税。

7. 会費納入についての臨時措置の継続

平成19年度より、徴収する会費については、長期化している会員の厳しい経営環境に鑑み、臨時措置として10%の減額を行い、その原資として繰越額を充当することとしておりますが、平成21年度もこれを継続することとする。

●第4号議案 平成21年度収支予算承認の件

平成21年度収支予算案を説明し、承認された。

◇収支予算書

自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日

I 事業活動収支の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増△減
1. 事業活動収入			
(1) 会費収入	48,023,000	52,266,000	△4,243,000
1) 通常会費	47,923,000	52,166,000	△4,243,000
①正会員	24,300,000	26,136,000	△1,836,000
②賛助会員(1種)	5,940,000	6,750,000	△810,000
③賛助会員(2種)	675,000	675,000	0
④正会員賦課金	17,008,000	18,605,000	△1,597,000
2) 入会金	100,000	100,000	0
①入会金	100,000	100,000	0
(2) 事業収入	85,550,000	116,720,000	△31,170,000
1) 受託収入	50,000,000	70,000,000	△20,000,000
2) 認定試験及び講習会収入	14,500,000	13,100,000	1,400,000
①認定試験収入	3,250,000	2,750,000	500,000
②試験講習会収入	5,850,000	4,950,000	900,000
③資格者証更新講習会収入	5,400,000	5,400,000	0
3) 登録基幹技能者講習収入	20,000,000	30,000,000	△10,000,000
①試験講習収入	20,000,000	30,000,000	△10,000,000
②修了証更新講習収入	0	0	0
4) 技術図書販売収入	1,050,000	3,620,000	△2,570,000
(3) 雑収入	140,000	140,000	0
1) 預金利息	100,000	100,000	0
2) 雑収入	40,000	40,000	0
事業活動収入計	133,713,000	169,126,000	△35,413,000

科 目	予 算 額	前年度予算額	増△減
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出			
1) 海上起重事業の近代化	2,160,000	2,000,000	160,000
2) 調査研究等	30,243,000	59,136,000	△28,893,000
①自主事業	3,310,000	3,400,000	△90,000
②受託事業	26,933,000	55,736,000	△28,803,000
3) 認定試験・講習会	11,440,000	10,300,000	1,140,000
①認定試験事業	8,910,000	8,000,000	910,000
②資格者証更新事業	2,530,000	2,300,000	230,000
4) 登録基幹技能者講習	15,500,000	15,050,000	450,000
①講習事業	15,500,000	15,050,000	450,000
②修了証更新事業	0	0	0
5) 広報活動	6,790,000	6,500,000	290,000
6) 支部事業活動費	8,970,000	7,270,000	1,700,000
事業費支出計	75,103,000	100,256,000	△25,153,000

科 目	予 算 額	前年度予算額	増△減
(2) 管理費支出			
1) 人件費	37,030,000	38,700,000	△1,670,000
①給料手当	30,240,000	33,200,000	△2,960,000
②退職金	0	0	
③福利厚生費	6,790,000	5,500,000	1,290,000
2) 物件費	20,580,000	21,170,000	△590,000
①会議費	3,050,000	3,000,000	50,000
②旅費交通費	1,740,000	1,900,000	△160,000
③通信運搬費	650,000	600,000	50,000
④消耗品費	80,000	80,000	0
⑤修繕費	50,000	50,000	0
⑥印刷製本費	520,000	470,000	50,000
⑦図書費	100,000	80,000	20,000
⑧光熱水料費	450,000	390,000	60,000
⑨賃貸料	7,490,000	7,300,000	190,000
⑩諸謝金	300,000	300,000	0
⑪租税公課	1,930,000	2,600,000	△670,000
⑫負担金支出	1,370,000	1,500,000	△130,000
⑬雑費	2,850,000	2,900,000	△50,000
管理費支出計	57,610,000	59,870,000	△2,260,000
事業活動支出計	132,713,000	160,126,000	△27,413,000
事業活動収支差額	1,000,000	9,000,000	△8,000,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
(1) 退職給付積立預金取崩収入	0	0	0
(2) 事業運営積立預金取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
(1) 退職給付積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
(2) 事業運営積立預金支出	0	0	0
(3) 25周年事業積立預金支出	0	2,000,000	△2,000,000
(4) 認定講習運営積立預金支出	4,000,000	10,000,000	△6,000,000
投資活動支出計	5,000,000	13,000,000	△8,000,000
投資活動収支差額	△5,000,000	△13,000,000	8,000,000
III 予備費	1,000,000	1,000,000	0
当期収支差額	△5,000,000	△5,000,000	0
前期繰越収支差額	50,418,164	49,943,747	474,417
次期繰越収支差額	45,418,164	44,943,747	474,417

●第5号議案 役員の任期満了に伴う改選の件

任期満了に伴う役員の改選が行われ、2人の役員が新任され他の役員は再任された。

役員名簿(平成21年5月15日役員改選)

会 長	寄神 茂之	寄神建設(株)	代表取締役社長	
副会長	清原 生郎	関門港湾建設(株)	代表取締役社長	
副会長	宮崎 英樹	岩倉建設(株)	代表取締役社長	(北海道支部長)
副会長	宮城 政章	宮城建設(株)	代表取締役社長	(東北支部長)
副会長	鳥海 宣隆	(株)古川組	代表取締役社長	(関東支部長)
副会長	本間 達郎	(株)本間組	代表取締役社長	(北陸支部長)
副会長	佐野 茂樹	青木建設(株)	代表取締役	(中部支部長)
副会長	吉田 和正	(株)吉田組	代表取締役社長	(近畿支部長)
専務理事	青木 道雄			
理 事	伏見 暁	山陽建設(株)	代表取締役社長	(中国支部長)
理 事	中谷 俊	大旺建設(株)	土木営業本部副本部長	(四国支部長)
理 事	近藤 観司	(株)近藤海事	代表取締役社長	(九州支部長)
理 事	下地 米蔵	(株)大米建設	代表取締役社長	(沖縄支部長)
理 事	伊藤 定次	高砂建設(株)	代表取締役社長	
理 事	山崎 正一	青木マリーン(株)	代表取締役社長	
理 事	金津 任紀	カナツ技建工業(株)	代表取締役社長	
理 事	清水 重輝	(株)清水組	代表取締役社長	
理 事	廣田 圭三	深田サルベージ建設(株)	代表取締役社長	
理 事	谷村 知行	(株)谷村建設	代表取締役社長	
理 事	藤田 幸洋	藤建設(株)	代表取締役社長	
理 事	松浦源至郎	松浦企業(株)	代表取締役社長	
理 事	山本 実	(株)ソイルテクニカ	代表取締役社長	
理 事	米盛庄一郎	米盛建設(株)	代表取締役社長	
監 事	多田 正男	特別会員	税理士	
監 事	田村 幸一	静和工業(株)	代表取締役社長	

■新役員紹介



理 事
山崎 正一氏
(青木マリーン(株)社長)



理 事
廣田 圭三氏
(深田サルベージ建設(株)社長)

◆協会長表彰

平成21年度功労者表彰式が通常総会終了後引き続き行われ、被表彰者に寄神会長から表彰状と副賞が授与された。

●海上起重事業功労者(会員会社役員)



高田隆仁氏
岩倉建設(株)



大村千尋氏
(株)田中組



林崎幸一氏
宮城建設(株)



雁部招平氏
(株)丸本組



小山博義氏
(株)植木組



渡部光夫氏
(株)小島組



東井卓夫氏
寄神建設(株)



安原静雄氏
(株)吉田組



大川満安氏
門田建設(株)

所属支部名	氏名	所属会社
北海道	高田 隆 仁	岩倉建設(株)
	大村 千 尋	(株)田中組
東 北	林 崎 幸 一	宮城建設(株)
	雁 部 招 平	(株)丸本組
北 陸	小 山 博 義	(株)植木組
中 部	渡 部 光 夫	(株)小島組
近 畿	東 井 卓 夫	寄神建設(株)
	安 原 静 雄	(株)吉田組
九 州	大 川 満 安	門田建設(株)

●会務功労者(協会常勤職員)

氏名	所属会社	経歴
佐藤 召子	前総務課長	H4.9.1～H21.3.31



会務功労者として表彰される
佐藤前総務課長



表彰者一同

◆第23回通常総会懇親会

第23回通常総会及び講演会終了後、東京・虎ノ門パストラル新館1階「鳳凰東の間」において多数の関係者を招き、盛大に懇親会が行われた。最初に主催者を代表して寄神会長が「協会を取り巻く環境は、なお、厳しいものがありますが、新役員一同、本来の目的であります、海上工事の品質確保と安全確保をしっかりと行って、顧客の期待に応えていかなければならないと」挨拶。

続いて来賓の須野原港湾局長、泉信也参議院議員、渡辺具能衆議院議員の宮内秘書からそれぞれご祝辞を頂きました。大島全日本漁港建設協会長の音頭で乾杯。会場一杯の参加者で大いに盛り上がり、最後に清原副会長の中締めで散会となった。

◆第67回理事会

通常総会に先立ち、第67回理事会が14時から開催され、理事22名、監事1名の出関のもと審議が行われた。



理事会で挨拶する寄神会長

第1号議案から第5号議案までは通常総会への議案でいずれも原案どおり審議された。第6号議案その他の議案で会員の入退会に関する件等の審議がなされた。

また、審議終了後報告事項として「第66回理事会意見交換会で出された意見等への対応方針」が報告された。

(吸収合併による会員の変動)

(正会員2社)

区分	会社名	代表者名	所在地	会員動向
正会員	(株)北旺建設	得永道彦	札幌市白石区平和通2-北11-18	
正会員	北海道機械開発(株)	百瀬 治	札幌市東区苗穂町10-1-15	
合併 法人	機械開発北旺(株)	百瀬 治	札幌市東区苗穂町10-1-15	10月1日 正会員継承
正会員	九州洋伸建設(株)	山口孝司	福岡市博多区沖浜町12-1	
正会員	洋伸建設(株)	大田満廣	広島市中区上八丁堀4-1	
合併 法人	洋伸建設(株)	大田満廣	広島市中区上八丁堀4-1	4月1日 正会員継承

(退会会員)

(正会員15社)

支部	会社名	代表者名	所在地
北海道	(株)宏栄建設	藤井 明	檜山郡江差町字中歌町196-5
東北	(株)明和土木	金野 健	大船渡市大船渡町字上山14-3
〃	(株)及川工務店	泉 修一	釜石市新浜町1-4-37
〃	大森建設(株)	大森三四郎	能代市河戸川字北西山48-1
〃	酒井鈴木工業(株)	齋藤 茂	酒田市大浜1-4-62
〃	(株)加藤組	加藤 義光	男鹿市脇本脇本字向山18-6
関東	(株)岡部工務店	小林 博	日立市多賀町2-10-7
北陸	(株)戸田組	戸田 充	七尾市府中町162
〃	(株)新潟藤田組	藤田 直也	新潟市中央区白山浦2-645-1
中国	大畑建設(株)	大畑 清美	益田市大谷町36-3
九州	山下産業(株)	山下 隆士	串間市大字南方2536-47
〃	博多港管理(株)	大原 剛毅	福岡市中央区港2-3-25
〃	西浦建設(株)	西浦 昭宏	北九州市門司区松原2-4-15
沖縄	(株)東江建設	東江 優	浦添市内間1-10-7
〃	八重山興業(株)	宮良 安則	那覇市曙2-25-38

(賛助会員3社)

種別	会社名	代表者名	所在地
I種	大豊建設(株)	岡村 康秀	東京都中央区新川1-24-4
〃	三井造船(株)	加藤 泰彦	東京都中央区築地5-6-4
〃	トビー工業(株)	清水 良朗	東京都千代田区四番町5-6

◆講演会

第23回通常総会後、引き続き講演会を開催しました。講師に国土交通省林田博大臣官房技術参事官及び国土交通省港湾局技術企画課松原裕建設企画室長をお招きし、「最近の港湾行政について」と題して大変有意義な講演を頂きました。

東京国際空港(羽田空港) D滑走路建設工事の現況報告

—第6回 プレキャスト床版の製作と設置編—

東京空港整備事務所 吉田 行秀

1. はじめに

D滑走路は、図-1に示すように多摩川の河口域に建設され、多摩川の流れを妨げないこと、及び気象・海象の影響をうける現場作業をできるだけ低減するため、多摩川側延長約 1,100mの区間はジャケット式栈橋構造となっています。

ジャケット式栈橋構造は、図-2に示すように海中に打設された鋼管基礎杭に工場製作された鋼製のジャケットを据付、その上に床版を設置します。

ここでは、栈橋部約50万㎡のうち、約31万㎡に使用するPCa床版(プレキャスト・プレストレスト床版)の工場製作から現地設置までについて報告します。

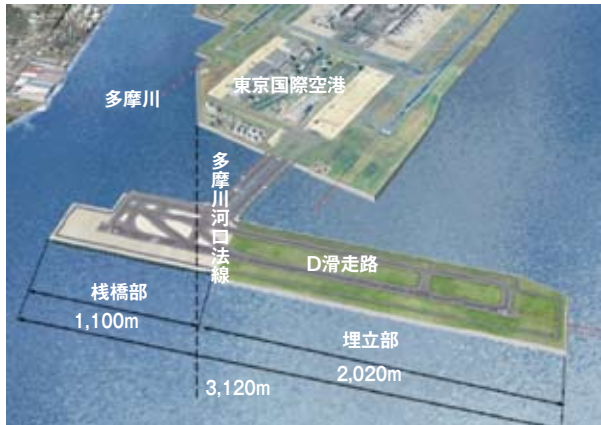


図-1 D滑走路全体図

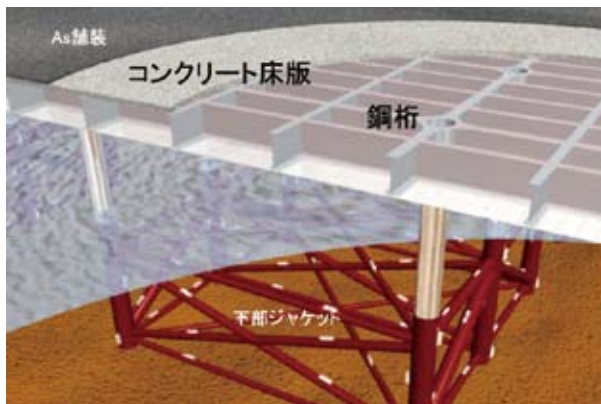


図-2 栈橋構造概要図

2. PCa床版の構造

PCa床版は、栈橋部のうち航空機が走行する滑走路、誘導路、高速脱出誘導路の約31万㎡に使用します。PCa床版工は、工場製作したPCa床版を海上運搬し、ジャケット鋼製桁上に据付け、PCa床版とPCa床版との間に間詰めコンクリートを打設することにより滑走路等の基盤とするものです。

PCa床版は、空港施設区分により滑走路、誘導路、高速脱出誘導路、ショルダー・過走帯及び着陸帯Aの5つに分類され(図-3の赤線で囲まれた部分)、各区分の荷重条件の違いによりPCa床版の厚さ、鉄筋量、PC鋼材料などが個々に設定されています。

今回の工事で製作するPCa床版の全枚数は、10,697枚です。その内訳を表-1に示します。

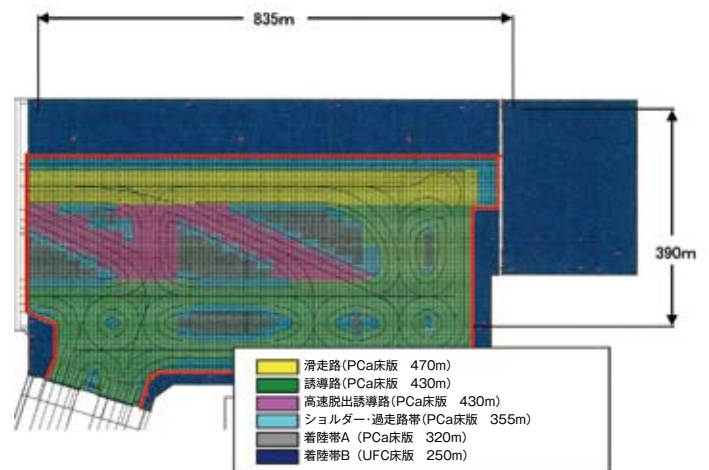


図-3 栈橋部PCa床版配置平面図

用途・種別	単位	数量
滑走路	標準版	枚 1,319
	杭頭版	枚 432
誘導路	標準版	枚 3,146
	杭頭版	枚 1,169
高速脱出誘導路	標準版	枚 997
	杭頭版	枚 420
シオルダー・過走路帯	標準版	枚 1,629
	杭頭版	枚 524
着陸帯A	標準版	枚 849
	杭頭版	枚 212
合計	枚	10,697

表-1 PCa床版内訳

ジャケット1基当りのPCa床版の配置は、図-4に示すようにレグ杭頭補強部6箇所(杭頭版)とそれ以外の標準部(標準版)とに分かれます。

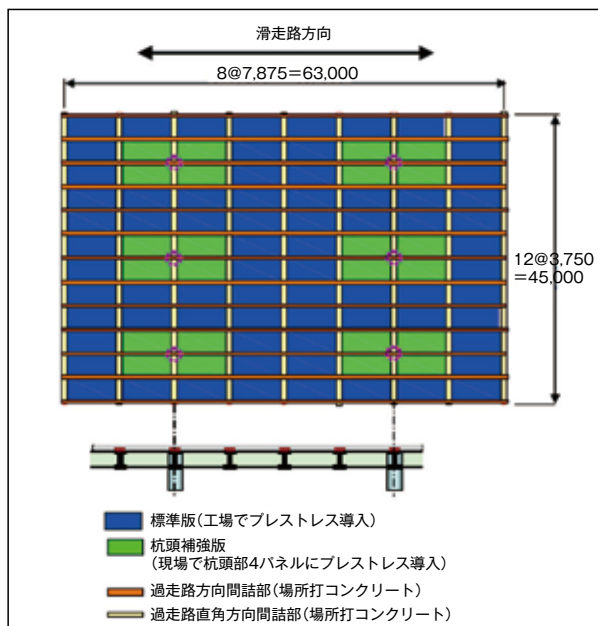


図-4 PCa床版配置図

工場で製作するPCa床版の標準寸法は、図-5に示すように滑走路標準版で滑走路平行方向に6,585mm、滑走路直角方向に3,320mm、厚さ400mmとなり、その重量は約25tになります。

滑走路平行方向の鋼桁フランジ上には、予めスタットジベルが打設されており、間詰めコンクリートを打設することによりスタットジベルを介して鋼桁と床版は一体化されます。滑走路直角方向は、床版と鋼桁の縁が切れており、床版は一方向版として挙動しま

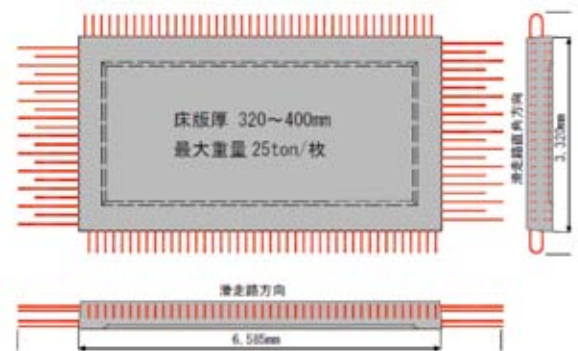


図-5 PCa床版の標準寸法

す。間詰め部の鉄筋の継ぎ手は、滑走路平行方向はループ継手、滑走路直角方向は重ね継手になっています。

PCa床版の間詰め部の滑走路平行方向の構造断面を図-6、滑走路直角方向の構造断面を図-7に示します。

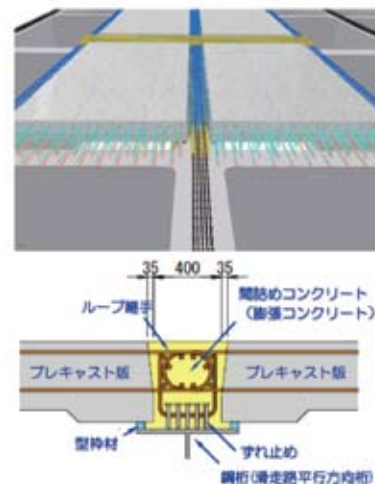


図-6 滑走路平行方向断面図

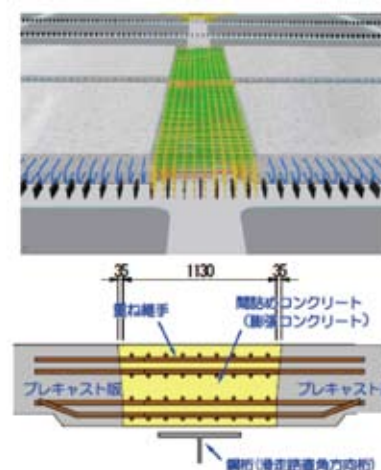


図-7 滑走路直角方向断面図

杭頭部は、ジャケットのレグの直上部に相当し、床版の支点となっているため、床版上に航空機荷重が作用することによって大きな負の曲げモーメントが発生します。このため、レグ周囲に架設した4枚のPCa床版とその間の間詰めコンクリートを合わせたコンクリート構造体にプレストレスを導入して杭頭部を補強します。

杭頭版は、滑走路平行方向、直角方向ともに現場においてポストテンションでプレストレスを導入する版と、滑走路直角方向は工場でプレテンション、滑走路平行方向は現場でポストテンションによりプレストレスを導入する版の2タイプに分かれている。なお、現場緊張する版には、PCa床版製作時に予めシース管を配置しています。

3. PCa床版の製作

千葉県富津市にあるPCa床版製作工場は、約89,000㎡の敷地面積を有しており、鉄筋組立、製造、レイタンス処理、製品仕上げ及び製品仮置の計5エリアに分かれています。

製作エリアでは、製作ラインを工場緊張方式(プレテンション方式)の3ラインと、現場緊張方式(ポストテンション方式)の計4ラインを設けて日最大約24枚を製作しており、全枚数10,697枚を延べ25ヶ月間で製作する工程になっています。

鉄筋組立エリアでは、予め所定寸法に加工された鉄筋を上鉄筋と下鉄筋の各ユニットに組立、それらの鉄筋ユニットの一体化を図ります。一体化された鉄筋ユニットは製作台へ吊込み設置され、鉄筋ユニット内にプレグラウト鋼棒を組入れます。

製造エリアでは、型枠組立・付属物設置、プレテン



写真-1 仮置き状況

ション導入、コンクリート打設、常圧蒸気養生及びプレテンション鋼材の張力の解除により床版にプレストレスの導入を行ないます。

レイタンス処理エリアでは、養生完了後、型枠脱型を行い、幅止め枠撤去後、PCa床版側面を高压洗浄機によりコンクリート打ち継ぎ面を粗に仕上げます。

製品仕上げエリアでは、プレテンション鋼材の切断及び防錆処理を行ないます。PCa床版から張り出した鉄筋には防錆剤を塗布し、養生期間中の錆の発生を防止します。さらに、滑走路平行方向に配置したプレグラウト鋼棒にプレストレスを導入し、無収縮モルタルで床版端部を平坦に仕上げ、製作を完了し仮置きします。(写真-1参照)

4. 現場施工

PCa製作工場から大型トレーラで陸上輸送されたPCa床版を富津公共岸壁にてクローラクレーンを使用して床版運搬台船に積み込み、羽田現場まで運搬します。

羽田現場では、海上運搬したPCa床版をジャケット鋼桁上に据付け、間詰めコンクリートを打設し、鋼桁とPCa床版とを一体化します。

4.1 箱抜き工

ジャケットのレグを中心とした滑走路平行方向の鋼桁上にはスタッドジベルが予め打設してあります。

間詰めコンクリート打設完了後、杭頭部にプレストレスを有効且つ均等に導入するため、図-7に示すようにPCa床版架設前にスタッドジベルに鋼製のボックスを被せ、箱抜きとし、鋼桁とコンクリートを一体化させない構造とします。(写真-2参照)箱抜きボックス

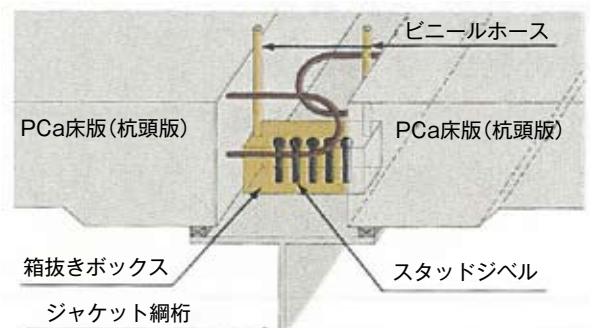


図-7 箱抜き概念図



写真-2 箱抜きボックス設置・PCa床版据付

は、一つで滑走路直角方向のスタッドジベル5本分を覆っており、上部にある注入、排出用の2箇所孔にビニールホースを挿入して間詰めコンクリート仕上がり面より上に立ち上げます。

杭頭部間詰めコンクリート打ち込み完了、硬化後、プレストレスを導入し、箱抜き部に無収縮モルタルを注入して、スタッドジベルとPCa床版の一体化を行います。

4.2 PCa床版の据付

栈橋上の物揚場から海上運搬したPCa床版を150t級クローラクレーンにて吊り上げ、ジャケット上部鋼桁の格子状マス目に合わせてフランジの左右長辺方向にそれぞれ2箇所ずつ配置した高さ調整ゴムの上にPCa床版を据付けます。(写真-3参照)

PCa床版架設完了後、鋼桁上のスタッドジベルとPCa床版側面との間を木製キャンバーで固定し、横ずれや落下防止対策を講じます。



写真-3 PCa床版据付状況

4.3 間詰めコンクリート工

隣接するPCa床版との間(間詰め部)の鉄筋、型枠を組み立て、コンクリートを打設します。

鉄筋の組み立ては、滑走路平行方向ではPCa床版

から張り出したループ筋(ループ継ぎ手)に直筋を挿入して所定の位置に組み立てます。滑走路直角方向はPCa床版から張り出した鉄筋に直筋を配置し組み立てます。(写真-4参照)

滑走路直角方向では木製の底型枠をジャケット鋼桁上面に組み立てます。コンクリート鉛直打ち継ぎ部は木製やスポンジ等で型枠を組み立て、型枠には打ち継ぎ処理を容易にするために凝結遅延剤を塗布します。

コンクリート打ち込み(写真-5参照)、締固め完了後、皮膜養生剤をコンクリート表面に散布し、所定の高さに均し金コテで仕上げます。表面を荒らさずに作業できる程度にコンクリートが硬化した後、コンクリート面を養生用マットで覆い、散水を行い湿潤状態に保ちます。

コンクリート打設完了後、コンクリートが所定の圧縮強度を発現したことを確認してから、型枠を脱型します。

型枠脱型後、次に施工する間詰めコンクリートと



写真-4 鉄筋組立完了(標準版)



写真-5 打設状況(杭頭版)

の付着をよくするため、コンクリート鉛直打ち継ぎ面を高圧空気、ワイヤーブラシや電動チツパ等によりレイトランスを除去し、打ち継ぎ面を粗に仕上げます。

4.4 緊張工

杭頭版架設後、PCa床版に埋め込まれたシース管に間詰め部のシース管を挿入し、隣の杭頭版のシース管と連結します。

シース管接続完了後、PC鋼より線を挿入します。さらに、支圧版にスリーブを挿入し、クサビを押し込みます。コンクリートペーストによるシース管内部の閉塞及びコンクリート打込み、締固め時のシース管のつぶれにより、PC鋼より線挿入不良を防ぐために、PC鋼より線は間詰めコンクリート打設前にシース管に挿入します。

コンクリートが所定の圧縮強度を発現したことを確認してから、PC鋼より線に定着具を装着してプレストレスを導入します。(写真-6参照)



写真-6 PC緊張状況

4.5 グラウト工

緊張作業完了後、緊張側と固定側の外とう管にキャップを取り付けます。キャップにはグラウト注入用とその充填確認及びエア抜き用に呼び径15mmのグラウトホースを設置します。シース管内の充填が満足に行なわれたかどうか確認するために、注入側でグラウトの漏れがないか注入状況を確認しながら、排出側でグラウトが吐出したことを確認して注入完了とします。(写真-7参照)



写真-7 グラウト注入状況(杭頭版)

5. おわりに

平成21年6月11日現在、PCa床版は工場にて、約9,350枚(全10,697枚)を製作し、そのうち約3,300枚の現地架設が完了しました。



写真-8 ジャケット上施工状況全景



写真-9 床版施工状況近景

更に、従来から結びつきの強い関西・中京圏との交流も引き続き強化していかなければなりません。

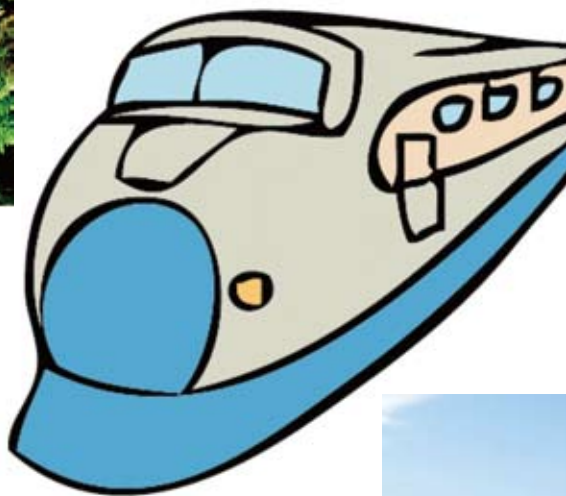
船を使って金沢港に入り、或いは新幹線に乗って金沢に来ていただき、飛行機で移動したりいろいろな移動手段を使って旅のバリエーションを楽しんで頂く事も大いに期待されるところです。

それには、何より金沢の魅力を一層アップする事が大切です。金沢市は平成21年1月19日に高山、彦根、萩、亀山の四市と共に、国土交通、農林水産、文化の三省庁から歴史都市の第一号に認定され、国の支援のもと個性的な街づくりに積極的に取り組んでいます。金沢城公園、東や西の茶屋街、兼六園、寺町の寺院群、21世紀美術館など沢山の見どころがありますが、それらの施設と相俟って市民が如何に「もてなしの心」を持って

人々に接する事が出来るかといった点が今、最も議論されているところです。

「もてなしの心」は、無理矢理に押しつけるようなものではなく、人々の生活の中に自然に溶け込んだものの中から、滲み出てくるものでなければなりません。即座に地域が対応出来る類のものではないかもしれませんが、城下町として発展してきた四百年の歴史と伝統を生かしながら、地道に市民の生活の中で醸成していきたいものと考えています。

港と空港と鉄道の連携、つまり海と空と陸の多様な結びつきを図っていく事が、地域の振興発展に繋がっていくものと確信しつつ、微力ながら今後とも地域づくりに寄与して参りたいと考えております。



2,400t吊 非自航低頭式ジブ俯仰型起重機船 第28吉田号

株式会社 吉田組



はじめに

東京国際空港D滑走路建設工事においてジャケット据付場所が現空港と隣接している為、航空制限高さ（AP+52.2m）又は航空制限解除時間（A滑走路部：7.5時間、C滑走路部：11.0時間）内でのジャケット据付条件が強いられた。

航空制限高さ及び航空制限解除時間の遵守、施工性及び安全性の確保、据付精度の向上を図る為、羽田ジャケット据付専用船として3,000t吊起重機船「第28吉田号」を改造し、2,400t吊低頭式起重機船を建造した。

本船の特長

① バラストシステム

（1,700m³/hのバラストポンプ×2基）

随時、船体トリム・ヒールのレベル確保が可能です。（最大ジャケット重量に対してバラストシフト時間30分程度）

② 吊治具

②-1 スイベル機構

360°回転することにより施工効率・安全性が向上します。

②-2 ガイド構造

ジャケット運搬台船及び起重機船の動揺に対応できます。

②-3 ハンドル式ピン脱着装置

ピンの抜挿しが素早く安全にできます。

③ ジブ俯仰式（俯仰角度±2°）

ジブ俯仰により吊治具の位置及び航空制限高さまでのクリアランスの微調整が可能です。

④ 位置・高さ管理システム

航空制限表面までのクリアランスをリアルタイムに管理できます。

⑤ ネットワーク カメラシステム

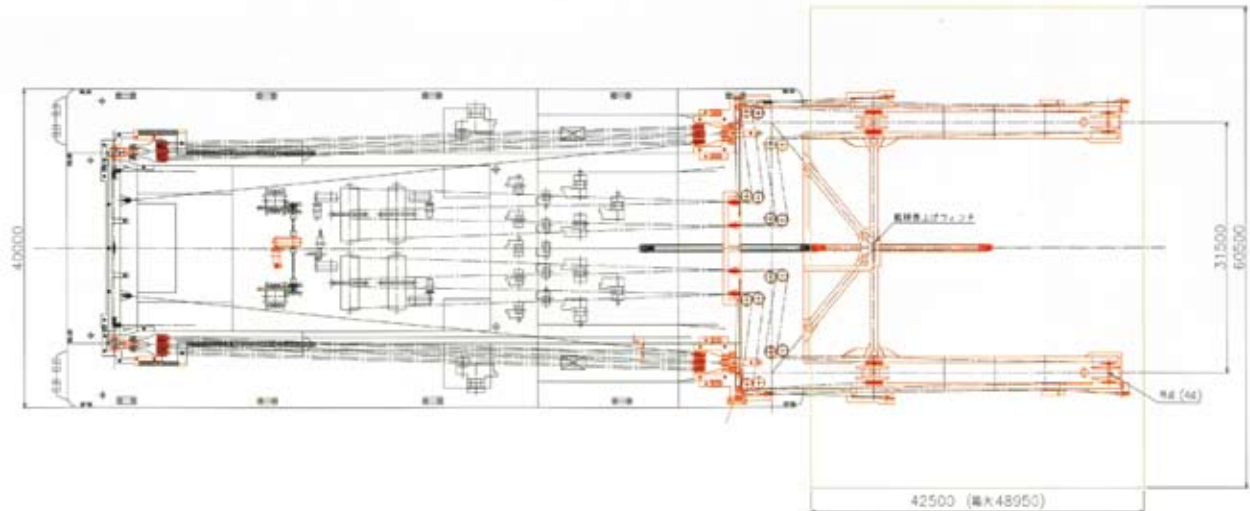
⑤-1 レグ内カメラ

クレーン操作室においてオペレーターがモニターでジャケットレグと杭とのクリアランスを確認しながら据付ができます。

⑤-2 傾斜計

クレーン操作室においてオペレーターがモニターでジャケットの鉛直性を確認しながら据付ができます。

平面図



第28吉田号 (2,400t吊 非自航低頭式ジブ俯仰型起重機船)			
主要目			
名称	形式・寸法・数量		
船体部	長さ(垂線間)	94.00M	
	巾(型)	40.00M	
	深さ(型)	7.80M	
	計画満載喫水(平均)	4.80M	
機関部	主発電機用原動機	ディーゼル 1,400PS × 720r.p.m 2基	
	補助発電機用原動機	ディーゼル 95PS × 1,200r.p.m 1基	
電気部	主発電機	AC 1,150KVA × 450V 2基	
	補助発電機	AC 75KVA × 450V 1基	
	バラスト用発電機	AC 800KVA × 450V 1基	
起重機部	主巻上定格荷量	2,400T (600T×4フック)	
	左右ジブフック荷重合計の差	200T以内	
	アウトリーチ	(船首端より) 24.00M	
	主巻上揚程	海面上	37.8M
		海面下	0M
	主巻上速度	2,400Tまでの荷重に対し	0.8M/min
		1,000Tまでの荷重に対し	1.6M/min
	俯仰	巻上と同時操作可能	
		負荷運転時は俯仰角 ±1° まで運転可能 無負荷運転時は俯仰角 ±2° まで運転可能	
	全高	水面上	49.4M
	フック間距離	前後方向	30.00M 左右方向 31.50M
バラストシフト装置 (主要弁およびポンプ発停は 操作室からの遠隔操作可能)	バラストポンプ	2基 - 電動 1,700m ³ /h×15m	
	バラストポンプ	2基 - 電動 500m ³ /h×15m	
	タンクレベル計	3点 - 電気式 (1- 船尾中央タンク、2- 船首タンク)	
	喫水計	4点 - 電気式 (2- 船尾、2- 船首)	
	バラスト操作盤	1面 - レベル計、喫水計表示含む	
ウインチ部	甲板ウインチ部	操船ウインチ (電動油圧)	40T×9M/min 2基
		操船ウインチ (電動油圧)	25T×12M/min 2基
		操船ウインチ (電動油圧)	25T×9M/min 4基
		曳航ウインチ (電動油圧)	25T×9M/min 2基
		玉掛けウインチ (電動油圧)	10T×25M/min 5基
		玉掛けウインチ (電動油圧)	5T×30M/min 5基 (1基のみ稼働中)

株式会社 小島組

安田 宏昭 (平成4年11月 海上起重作業管理技士認定)
(平成15年度 建設マスター取得)



プロフィール

- 出身地 千葉県安房郡天津小湊町
- 生年月日 昭和20年 7月 9日
- 入社年月日 昭和52年10月21日
- 所属 船舶管理部
- 職務 グラブ船 船長
- 船 団 第361良成丸(重錘油圧式グラブ浚渫船)
船 体 ◆全長: 60.0 m 巾: 21.0m グラブバケット(PL): 30m³
深さ: 3.6m 最大吊上げ荷重: 300.0T
起重機 ◆Skk-25039EH 油圧 ◆1200kW 1800PS×2基 浚渫深度: 35.0m

● 経歴

- 昭和37年 漁船 清祖丸 乗組員
- 昭和50年 株式会社 小島組 入社
- 昭和52年 浚渫船 第151良成丸 機関長
- 昭和63年 浚渫船 第261良成丸 機関長
- 昭和63年 浚渫船 第361良成丸 船長
- 現在に至る

● 最近携わった代表的な工事

- 平成17年度 東京湾口航路(中ノ瀬航路)浚渫工事
- 平成17年度 新海面処分場Gブロック深掘工事
(その1,その3,その4)
- 平成17年度 第二航路(-12m)しゅんせつ工事
(その1,その4)
- 平成18年度 新海面処分場Gブロック深掘工事(その1)
- 平成18年度 第二航路(-12m)しゅんせつ工事
(その3,その5)
- 平成19年度 新海面処分場Gブロック深掘工事
(その1,その3)
- 平成20年度 第一航路拡幅関連泊地しゅんせつ工事
- 平成20年度 南本牧ふ頭コンテナターミナル建設工事
(その3・MC-3接続通路路盤改良工事)

● 現在の職務と今後について

大型浚渫船第361良成丸の船長に携わるようになってから20年になります。

長年港湾工事に従事し、大型浚渫船ならではの専門的な知識や技術を習得でき、実績と経験から最も適した判断で施工にあたり、目視では確認できない深い水深の作業でも的確な状況判断のもとで、顧客の要求する施工技

術が備わりました。

今後は、船長として、状況の善し悪しを判断することや、作業をいかに効率よくかつ作業員への危険要因をなくす事が、重要な鍵であると考えます。無事故・無災害の原点だと確信しています。この信念の基に後進の育成教育には技術的指導以上に作業環境を整え、どの時点で指示を作業員に伝え、指示事項をいかに厳守させるかを一番に考えています。

これからも安全責任者として、健康管理や作業環境の改善に努め、後進の育成に役立ちたいと思います。

● 海上起重作業管理技士の認定制度について

海洋土木工事に携わるわが社も、半数の作業員が資格取得しています。

この度『海上起重基幹技能者』資格制度の登録も制定され、専門業者の活躍の場がひろがり、更なる技術の向上と、次世代の海上作業従事者の育成に役立つ制度だと認識しております。



第361良成丸

本部活動

平成21年4月3日(金)

◇第1回常任委員会幹事会

1. 平成21年度事業計画の作成方針について
2. その他

平成21年4月17日(金)

◇第1回認定試験・講習試験委員会(合同)[虎ノ門
パストラル]

1. 平成20年度までの認定状況
2. 平成21年度年間スケジュールについて
3. 平成21年度認定試験・更新講習、講習試験の取り組みについて
4. その他



試験委員会開催状況

平成21年4月30日(木)

◇第1回常任委員会・第2回常任委員会幹事会

1. 第67回理事会及び第23回通常総会について
2. その他

平成21年5月22日(金)

◇第2回技術認定委員会・講習会講師打合せ

1. 平成21年度認定試験・更新講習、講習試験の取り組みについて
 - ①基幹技能者講習内容・時間割について
 - ②認定試験と講習試験の試験問題について
 - ③講習テキスト作成方針について
2. その他

平成21年6月5日(金)

◇第3回常任委員会幹事会

1. 港湾局長要望に対するアンケート調査について
2. その他

北海道支部

◇第23回北海道支部総会開催

第23回北海道支部総会が4月23日(木)午後3時30分から、札幌グランドホテルにおいて開催されました。引き続き、北海道開発局港湾空港部港湾建設課長 桑島隆一 様から「港湾・漁港整備事業の動向について」と題してご講演をいただき、その後懇親会を開催し盛会裡に終了いたしました。

総会次第

1. 開会の辞
2. 支部長挨拶 支部長 宮崎 英樹
3. 来賓挨拶
国土交通省北海道開発局港湾空港部長
山口 清一 様
社団法人日本海上起重技術協会会長
寄神 茂之 様
4. 議長選出
5. 本部会務報告
社団法人日本海上起重技術協会専務理事

- 青木 道雄 様
6. 議 案
- 第1号議案 平成20年度 事業報告承認の件
 第2号議案 平成20年度 収支決算報告承認の件
 第3号議案 平成21年度 事業計画承認の件
 第4号議案 平成21年度 収支予算承認の件
 第5号議案 任満了に伴う役員の選任の件
7. その他
8. 閉会の辞



挨拶する宮崎支部長



◇第9回東北支部総会開催

平成21年度東北支部第9回通常総会を、去る6月9日(火)、仙台市の「ホテルモントレ仙台」において開催いたしました。

総会は、本部より寄神会長、青木専務理事にご臨席いただき、会員27社のうち16社出席のもと、下記次第により行われました。宮城支部長が議長に選出され、議事については原案どおり承認されました。

総会次第

1. 開会
2. 支部長挨拶 支部長 宮城政章
3. 来賓挨拶 (社)日本海上起重技術協会
会長 寄神茂之 様

4. 議長選出
5. 議事
 - 【1号議案】 経過報告
 - 【2号議案】 平成20年度収支決算報告
及び会計監査報告
 - 【3号議案】 平成21年度事業計画(案)
及び予算(案)
 - 【4号議案】 役員改選
 - 【5号議案】 その他
6. 本部活動報告 (社)日本海上起重技術協会
専務理事 青木道雄 様
7. 閉会



挨拶する宮城支部長

総会終了後の懇親会は、昨年からは仙台地区の港湾関係協会が合同で行っており、今年は、埋浚東北支部、東北港湾空港建設協会連合会、海技協東北支部の3協会に新たに宮城県港湾建設協会が加わり、4協会合同130名参加で盛大に行われました。

国土交通省東北地方整備局からは副局長はじめ多数の参加をいただき非常に有意義なひとときを過ごすことができました。

関東支部

第14回関東支部総会開催

去る5月15日(金)虎ノ門パストラルにおいて、関東支部総会を開催しました。

総会は、鳥海支部長の挨拶、来賓の青木専務理事のご挨拶の後、鳥海支部長が議長に選出され、議事について、全議案とも原案どおり承認された。

出席者は14社、委任状4社でした。

本部からは、青木専務理事にご臨席いただき、総会を成功裡に閉会することができました。

総会次第

1. 開会
2. 支部長挨拶 支部長 鳥海 宣隆
3. 来賓挨拶 (社)日本海上起重技術協会
専務理事 青木 道雄
4. 議題
第1号議案 平成20年度活動報告
第2号議案 平成20年度収支決算報告
及び監査報告
第3号議案 役員改選
第4号議案 平成21年度事業計画
第5号議案 平成21年度収支予算
第6号議案 その他
5. 閉会

九州支部

◇第14回九州支部総会開催

第14回九州支部通常総会が4月22日(水)山口県下

関市のシーモールパレスにおいて開催されました。総会では協会本部 寄神会長にご挨拶をいただき、青木専務理事より本部報告をいただきました。今回も全国浚渫業協会 西日本支部との合同による“港湾講演会”及び“懇談会”を開催いたしました。“港湾講演会”では、海上自衛隊下関基地隊 司令 原田哲郎様による「我が国における機雷掃海について」と題してのご講演をいただき、懇談会には九州地方整備局 佐藤副局長をはじめ多数の関係官庁の来賓をお迎えし、和やかに終了いたしました。

1. 開催日:平成20年4月22日(水) 16:20
2. 開催場所:山口県下関市 シーモールパレス
3. 総会 出席者:29社(委任状12社含む)
(次 第)
 - ・開 会
 - ・支部長挨拶 支部長 近藤 観司
 - ・来賓挨拶 会 長 寄神 茂之 様
 - ・総会議案
 - (1)平成20年度事業報告及び決算報告について
 - (2)平成21年度事業計画(案)及び予算(案)について
 - (3)その他
 - ・本部活動報告 専務理事 青木 道雄 様
 - ・閉 会
4. 港湾講演会 出席者:81名(全浚協 合同)
5. 懇 談 会 出席者:17名(全浚協 合同)



支部総会で挨拶する寄神会長

インフォメーション

海技協 販売図書・案内

図書名	概要	体裁	発行年月	販売価格
非航作業船のえい航用 引船馬力の計算指針	作業船をえい航するために必要な引船の能力算出方法を取りまとめた指針	A4版 78ページ	平成 4年3月	会 員 1,500円 非会員2,000円 (消費税、送料含)
作業船団の運航に伴う 環境保全対策マニュアル (国土交通省港湾局監修)	作業船が運航することによって自ら発生する排水、廃油、排出ガス、船内発生廃棄物、振動、騒音等による環境保全について、難解な関係法令を整理し、対応方策について取りまとめたマニュアル ・「港湾工事共通仕様書」((社)日本港湾協会発行)に参考図書として指定	A4版 94ページ	平成18年4月	会 員 2,000円 非会員2,500円 (消費税含、送料別)
作業船による架空送電線 接触事故防止対策指針	平成18年8月の超高压送電線にクレーン台船のブームが接触し、首都圏の139万世帯が停電、鉄道輸送9社18路線が一時停止するなど首都機能が麻痺状態に陥る大事故が発生したことから、作業船による送電線への接触事故再発防止対策を取りまとめた指針	A4版 30ページ	平成19年1月	会 員 1,000円 非会員1,500円 (消費税含、送料別)
沿岸域における 海象メカニズム	波のメカニズムを、平易に解説した文献	A4版 32ページ	平成19年3月	会 員 700円 非会員1,000円 (消費税含、送料別)
作業船団安全運航指針 (改訂版) (国土交通省港湾局監修)	近年の関係諸法令の改正に対する見直し等及び「作業船による架空送電線接触事故防止対策指針」を新たに盛り込んだ改訂版を発行 ・「港湾工事共通仕様書」((社)日本港湾協会発行)に参考図書として指定	A5版 200ページ	平成20年4月	会 員 2,000円 非会員2,500円 (消費税含、送料別)

※購入は「図書名、部数、送付先、担当者、連絡先、請求書あて先」を記入したFAX又はメールで、協会事務局へ申し込んで下さい。

●お知らせコーナー●

1

新刊のご案内(平成20年4月発行)

国土交通省港湾局監修 作業船団安全運航指針(改訂版)

〈体裁〉A5版 200頁

〈定価〉会員2,000円 非会員2,500円(いずれも消費税を含み。送料は別途申し受けます)

購入については「図書名、部数、担当者、連絡先、請求書宛先」を記入し、FAX又はメールで、当協会事務局へ申し込んで下さい。

本指針は、「港湾工事共通仕様書」(国土交通省港湾局編集(社)日本港湾協会発行)において、請負者は本指針を参考にし、常に工事の安全に留意して事故及び災害の防止に努めることが規定されております。

今般、発行するに至りました改訂版は、近年の関係諸法令の改正に対する見直し等を行うとともに、平成18年8月に発生したクレーン船による超高压送電線接触事故を契機に、策定した「作業船による架空送電線接触事故防止対策指針」を新たに盛り込んだ「作業船団安全運航指針(改訂版)」といたしました。

本指針の活用により、危険要因の高い海上工事に従事する作業船の安全が一層確保されますことを祈念するものであります。

発行 社団法人 日本海上起重技術協会
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8 ユースビル8階
TEL:03-5640-2941 FAX:03-5640-9303



2

安全啓蒙ポスター 配布のお知らせ

新年度向けに新しいデザインによる「安全ポスター」を作成し、作業員一人一人の意識向上、啓蒙に役立つこと、及び海上起重作業船団の更なる安全運航に寄与することを願うものであります。

会員への配布

「安全ポスター」は、会員には5部配布し、また発注関係官公庁にも配布しております。

なお、部数に余裕がありますので、増配布を希望される会員は協会事務局へ申し出て下さい。無料で配布・送付します。



「安全ポスター」

3

海技協ホームページ「会員専用ページ」の掲載事項 (4月以降掲載分)

〔関連調達〕


- 下請資金繰り支援事業について
- 前払金支払時における下請建設企業等の口座への直接振込の徹底について

〔協会からのお知らせ〕

- 平成21年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について
- 傘下会員等への周知依頼
- ブーチン・ロシア連邦首相の来日に伴う警備協力について

(注)会員専用ページは、随時更新していますのでご利用下さい。
「会員専用ページ」を開くためには「ユーザー名」と「パスワード」が必要です。
当協会事務担当者にお尋ね下さい。

マリン・プロフェッショナル
海技協会報2009.7 VOL.92



禁無断転載

発行日 平成21年7月

発行所 社団法人日本海上起重技術協会
広報委員会

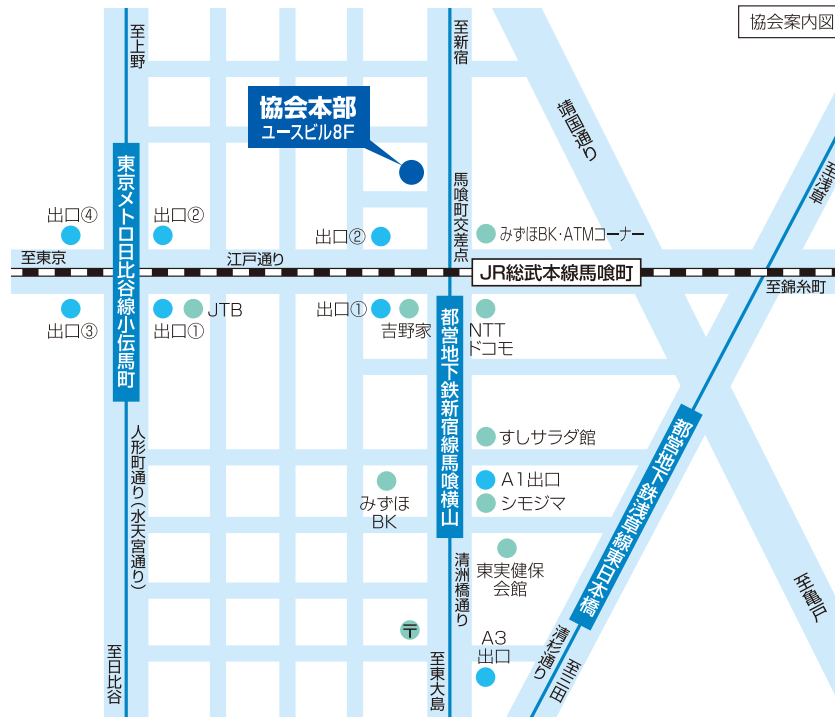
〒103-0002

東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8
ユースビル8F

TEL 03-5640-2941

FAX 03-5640-9303

印刷 株式会社 TBSサービス



本部	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8 ユースビル8F TEL 03(5640)2941 FAX 03(5640)9303 URL http://www.kaigikyo.jp/ E-mail honbu@kaigikyo.jp
北海道支部	〒060-0061 札幌市中央区南1条西7丁目16-2 岩倉建設(株)内 TEL 011(281)7710 FAX 011(281)7724
東北支部	〒980-3128 仙台市青葉区愛子中央4-4-5 宮城建設(株)仙台支店内 TEL 022(302)9333 FAX 022(302)9334
関東支部	〒104-0044 東京都中央区明石町13-1 (株)古川組内 TEL 03(3541)3601 FAX 03(3541)3695
北陸支部	〒951-8650 新潟市中央区西湊町通三ノ町3300-3 (株)本間組内 TEL 025(229)8475 FAX 025(228)9614
中部支部	〒413-0011 熱海市田原本町9-1 青木建設(株)内 TEL 0557(82)4181 FAX 0557(81)3940
近畿支部	〒671-1116 姫路市広畑区正門通3-6-2 (株)吉田組内 TEL 079(236)1206 FAX 079(237)4800
中国支部	〒723-0016 広島県三原市宮沖1-13-7 山陽建設(株)内 TEL 0848(62)2111 FAX 0848(63)0336
四国支部	〒780-8553 高知市駅前町5-5 大旺新洋(株)内 TEL 088(885)7211 FAX 088(885)7210
九州支部	〒808-0027 北九州市若松区北湊町3-24 (株)近藤海事内 TEL 093(761)1111 FAX 093(761)1001
沖縄支部	〒900-0001 那覇市港町3-6-11 (株)大米建設内 TEL 098(868)8318 FAX 098(868)6703